

第2回在宅医療・介護連携推進に係る多職種合同意見交換会実施報告

1 目的

地域包括ケアシステムの構築における重要な要素である在宅医療・介護連携について、地域の医療機関・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状と課題の抽出、解決策等を協議する。

また、この意見交換会は地域支援事業における包括的支援事業の一つである在宅医療・介護連携推進事業として行なうものである。

2 実施結果

(1) 実施日・時間 平成27年4月23日(木) 19:00～21:00

(2) 参加者 総勢81名

| 医療 | | 介護 | | その他 | |
|---------|-----|------------|-----|---------|----|
| 医師会関係 | 9人 | 居宅介護支援事業所 | 12人 | 社会福祉協議会 | 1人 |
| 歯科医師会関係 | 12人 | 訪問介護 | 6人 | 在宅栄養士会 | 3人 |
| 薬剤師会関係 | 4人 | 短期入所生活介護 | 2人 | | |
| | | 短期入所療養介護 | 2人 | | |
| | | 通所介護 | 15人 | | |
| | | 通所リハビリ | 3人 | | |
| | | 訪問看護 | 3人 | | |
| | | 地域包括支援センター | 9人 | | |

市職員 健康福祉部長
(7名) 保健センター所長
高齢者福祉課長 他4名

(3) 会場 行田市総合福祉会館「やすらぎの里」第3研修室

(4) 内容 「第2回 在宅医療・介護連携推進に係る多職種合同意見交換会<プログラム>」のとおり

(5) グループワークにより出された意見
・別添グループワーク結果

(6) 発表 「こはぜ投票結果」

| G | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|-----|----|---|----|----|---|----|----|---|----|----|----|----|
| 投票数 | 34 | 1 | 25 | 30 | 7 | 18 | 24 | 8 | 56 | 15 | 11 | 23 |

(7) アンケート結果 回答数75

【職種】

| | | | |
|---------|----------|-----------|----------|
| 医師 | 3人(4%) | 歯科医師 | 9人(12%) |
| 介護支援専門員 | 21人(28%) | ソーシャルワーカー | 2人(2.7%) |
| 介護福祉士 | 6人(8%) | 理学療法士 | 4人(5.3%) |
| 看護師 | 5人(6.6%) | 薬剤師 | 3人(4%) |

| | | | |
|---------|----------|----------|-----------|
| 管理栄養士 | 2人(2.7%) | 歯科衛生士 | 2人(2.7%) |
| 機能訓練指導員 | 1人(1.3%) | 施設管理者・事務 | 5人(6.7%) |
| 作業療法士 | 1人(1.3%) | 生活相談員 | 8人(10.7%) |
| その他の職種 | 1人(1.3%) | 不明 | 2人(2.7%) |

【職種ディスカッション】

○在宅医療・介護連携の課題一覧から特に重要だと思う項目

別添「課題一覧表」

○グループディスカッションで印象に残ったこと

- ・お互いの立場を理解し合うことが大切である。情報の共有のためには、これが基本となる。
- ・多職種が連携していくには、話しやすい雰囲気づくり。
- ・市民への周知
- ・看とりの話まで加わり、非常に参考になった。普段話せない内容が知る機会となっている
- ・医師と歯科衛生士をつないでやることで、ご家族への必要性が伝わりやすい
- ・情報の交換の場が重要だと言う事
- ・参加者の行田という地域に対する思い
- ・多職種での情報共有を求めている方が多かった。
- ・同職種で会を作り窓口を設置して連携をとる
- ・医療、介護の職種の中で、どんなことが在宅医療介護を担っていけるのかいろいろな角度からの意見交換が出来た
- ・医師、歯科医師の先生がいらっしゃったので、医療の事(ターミナルケア)のお話が聞けて良かったです。
- ・専門職間の連携 他職種連携する前に同職種が連携とり意見をまとめてキーパーソンを決める。
- ・それぞれの職種で、同じ課題でも考える内容が違う事が分かりました。
- ・自己紹介で平等な立場という雰囲気が作れました。
- ・この会は行政が攻められている印象を受ける。
- ・医師会、歯科医師会、薬剤師会のように介護においてもショートステイ、ケアマネージャーetc 他職種さん 確認とる連絡窓口をつくる必要がある
- ・専門職間の連携 まず専門職間の連携を計り、職種ごとのキーパーソンをつくり連携していく。またタブレットやスマホですぐに取り出せる情報が必要。
- ・討議の時間が短い。
- ・便利帳(介護などを1冊に)を作る。
- ・医療と介護の問題よりも、それを推進していくための行政の見解などを聞いた事がないのでは、という意見に納得した。皆にアイデアを聞いたり提案をもらうだけで進んでいない期間が長すぎますよねーという印象。
- ・介護の便利帳あるととても便利であり、市民も介護保険が使いやすくなるのではないかと思います。
- ・ケーブルTVの活用
- ・(行政市役所窓口高齢者福祉課)側が対象者に合ったサービスの提供がなく単なる提示になっている。もっと対象者にやさしい対応や積極的に考えていくことが必要ではないか?という点でした。この会の意見をどのように考えてやろうとしているのかしていないのか?伝わらない。
- ・考えていることは、同じ様な事があるんだと共有することができた。
- ・議論の時間がもっとほしい
- ・行政が相談窓口を作るという意見、それも働く介護者が相談できる時間帯。
- ・職種立場等関係なく話しやすいメンバーでした。
- ・Faが遠い→連絡がとれない 対応できない 地区で支え合う 介護タクシー、往診 Dr増、体調不良者を優先して診てほしい

- ・他職種の方々と顔がわかりとても勉強になりました。
- ・意見を尊重したやり取りの中で、話しやすかったです。
- ・通院手段がない。必要な治療が受けられない（金銭的な問題も含めて）
- ・各職種により違う視点で意見が出て勉強になった。
- ・地域によってちがいがあある。（サービス、質、量）
- ・多事業所での合同イベントは良いと思う。

【本日の内容】

| | 不満 | どちらかといえ ば不満 | どちらでもない | どちらかといえ ば満足 | 満足 | 記入なし |
|-----------------------|-------------|----------------|-------------|----------------|---------------|------|
| ① ディスカッション (GW) | 1 (1.3%) | 2 (2.7%) | 3 (4%) | 31 (41.3%) | 22 (29.3%) | 15 |
| ② 全体をとおし て | 0 (0%) | 1 (1.3%) | 7 (9.3%) | 34 (45.3%) | 16 (21.3%) | 17 |

【本日の意見交換会の感想】

- ・グループディスカッションの議題を決める手順が複雑すぎ。くじ引きにそれ程力を入れる必要があるのか疑問。
- ・グループワークを通して新たに顔の見える関係が作られたと思います。
- ・現場で実際に起きている状況をお聞きすることができ、良い時間となりました。今後これを参考にしていきたいと思いました。
- ・初めての参加でしたが大変有意義な時間を過ごせました。
- ・他職種の方の色々な意見が聞けて、大変良かった。
- ・参加して勉強になった。
- ・この交換会で市民在宅医療、介護連携便利帳を作る。市のホームページを充実させる。もっと見やすく。
- ・在宅介護の知識不足です。これから勉強です。
- ・他職種の見方があり、とても勉強になった。
- ・2回目ということでスムーズな流れとなっていた 時間配分も適切で有意義な時間となった。
- ・時間がたりない。
- ・職種が違くとみえてくるものが違い興味深かった。一人の意見に関して積み上げていく感じがよかった。
- ・次回もお願いします。
- ・初回参加でしたが次回も出席したい。
- ・顔の見える関係づくり多職種間の連携の必要が大切。
- ・多職種の方々と意見交換が出来てとても参考になった。顔の見える関係の重要性が理解できた。
- ・前回の交換会よりも慣れた為か、ディスカッションが盛り上がった。
- ・少しでもこの様な会を重ねていくことが大切。
- ・他職種の方々の色々な立場の意見を聞けて参考になりました。
- ・それぞれの役割を知るきっかけになった。今回は発表内容が整理されていてわかりやすく理解できた。勤務表を作成してから会議の日が決まるのでできれば1ヶ月前にお知らせ下さい。
- ・他職種の方とお話ができて良かったです。
- ・意見交換会が正直短い。(30分間)

- ・施設間のライバルも有ると思いますが、互いの施設の良さ悪さを知ること出来て良かったと思います。
- ・項目(課題一覧)に分かれており、話しやすかった。このように、具体的なテーマがあるとよい。
- ・有意義であって、良かった。
- ・初めての参加でしたが、いろいろな職種の方とお話ができたり意見交換できてとても良かった。
- ・初めて参加しました。異業種間の情報交換ができる時間を多少作ってほしい。
- ・いろいろないい意見がでていたのでぜひ 出来るようにしたい。
- ・有意義でした。
- ・今日も多くの職種、人が集まって交流が行えて良かったです。
- ・いろいろな方の意見が聞けて良かった。2回目の参加であり前回参加者もたくさん参加されたので交換タイムは良かったです。
- ・他の班の話した発表だけでなくマッピング(模造紙)内容(重要度)を見たかったです。
- ・ラッピングカーの活用は良い案だと思います。
- ・続けて会が行えるとよいと思います
- ・活発な場であった。
- ・楽しい時間を過ごしました。
- ・2回目ということで、少しなれて来たような感じがしました。
- ・班の意見を充分ひきだせずに同班の方にご迷惑をかけた
- ・多職種合同であるのでしかたないが、話しに一貫性やまとまりがないと感じた。具体的政策や問題の解決策を示す必要があると思う。
- ・前回よりも良かったと思います。1つ1つだと感じました。
- ・こういう場に参加して普段面識を持ってない方たちとの交流できた事はとても良かったと思います。
- ・有意義な話し合いの機会が持て、参加してよかったです。
- ・今回のグループワークがどう生かされるのでしょうか グループワークはとても充実しましたのでぜひ生かして頂きたい。
- ・初めて参加させて頂きありがとうございます。他業種との意見交換 それぞれの問題点が分かりました。
- ・各グループ内でそれぞれ違うカテゴリーについて意見が出て良かった。行政や各施設の施設長などの方に参加や聞くだけでも聞いてほしい内容だった。
- ・初めて参加しました。とても勉強になりました。
- ・グループごとに選んだものが違うなか、課題があり、全てのカテゴリーが大事で、平行して前に進んでいかなければならないものだと感じました。ありがとうございました。
- ・慣れて話しやすかった。
- ・行政の役割が重要。
- ・医療系の方の意見が聞けて良かったです。
- ・行政が出来る事、やろうと思っている事、計画を知れると良いと思う。
- ・活発な意見が出て多職さまざまな目を持つ意見交換が出来たのではないかと思います。専門職の部会があったら良いと思います。
- ・この会議を基に行政がどのように捉えて行動するか。行政の立ち場でどのように考えているか発表してほしい。他人任せではなくリーダーシップを行政にとってもらいたい。

【意見交換会の内容や運営への要望や意見】

- ・これでよいと思います。
- ・スムーズな進行になっており、発表なども良かった。
- ・交換会の頻度を増やす。
- ・意見交換会の次のステップアップはどうなるのだろうか。

- ・とても有意義でした。
- ・例えば各グループで困難事例を出しての解決策を出す。
- ・急変時の対応や夜間の対応など。
- ・19時からとなるとおわるのも遅くなるのももう少し早めにしてほしい
- ・毎月開催して下さい
- ・次は同職種同士で集まりその中で連携も必要。まずは、『仲間を知る』必要があると思います。
- ・今後の運営方法を教えて欲しい
- ・グループワークが一番大事なことだと思います。1回目より時間があり良かったと思います。
- ・”こはぜ投票”ではなく全体のまとめ役が必要では。その方が私自身頭の中がまとまる。
- ・医師は上の方の立ち場で一般とは話することなんて～とと思っていましたが、同テーブルで同目線で交流でき、違和感をくつがえす事ができました。
- ・継続は力なり！と思います。
- ・話し合った内容が、どこに反映されるのか。
- ・定期的で開催して欲しい。
- ・子供が小さいので時間が難しいが、この時間が1番集まりやすいのかと思う。
- ・継続を強く希望します。
- ・討議の時間を多くしてほしい。
- ・開催する度に、何か進展した内容などの発表をしてほしい。(進展していないから毎回行政は聞いただけなのか?)
- ・日程をもう少し早く知りたいです。
- ・やはりもっとはやい時間に開いてほしいと思う。
- ・診療のアポイントの関係があるため2ヶ月前ぐらいには具体的な日程を教えていただけると幸いです。
- ・いろんな意見で勉強できた。
- ・前回よりも更に良くなった陽に思います。(導入分)ただし、時間に追われている感がある。
- ・地域支援事業について、行政のイメージを教えてください。
- ・やり続ける→成果はほしい
- ・日常の診療(在宅診療)や介護事業に生かされる会とすることを望む
- ・日中の時間帯だと嬉しいです。
- ・今後も宜しくお願いします。
- ・時間の調整が難しい。
- ・申し訳ございませんが、開始時間を今少し早くお願いします。
- ・定期的に意見交換会を開催して欲しい。
- ・またぜひ開いてください。